

# 山ノ内町公共施設等総合管理計画【改訂】 概要版

## ◆ 公共施設等総合管理計画について

### 【背景と目的】(P1)

本町では、長期的な視点をもって公共施設等の全庁的、総合的な管理を推進するため、山ノ内町公共施設等総合管理計画を平成29(2017)年3月に策定しました。

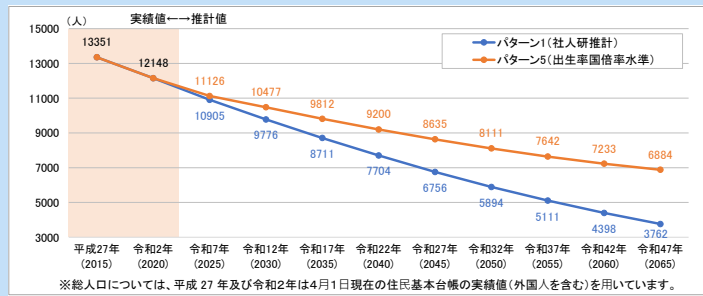
これまで進めてきた公共施設等に関する取組や各施設管理者が定めた個別施設計画の考え方を踏まえ、令和4(2022)年3月に計画の改訂を行いました。

### 【施設の対象範囲】(P2)

本計画で取り扱う対象施設は、令和3(2021)年3月末時点の本町が所有する学校・町営住宅・庁舎等の建築物系施設や道路、橋梁、上・下水道等のインフラ施設を対象とします。

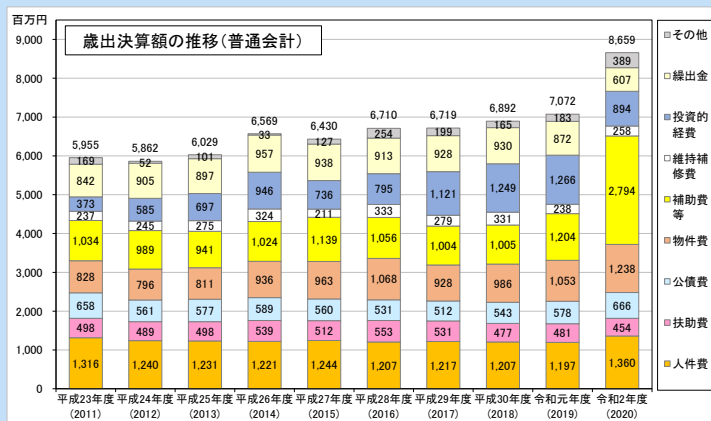
## ◆ 本町の状況

### 【人口の動向及び将来の見通し】(P4~P8)



昭和60(1985)年から人口減少が加速し、令和2(2020)年の国勢調査人口は11,352人となっています。  
「第2期山ノ内町人口ビジョン」の将来展望人口では、令和47(2065)年の総人口を6,884人と展望しています。

### 【財政状況】(P9~P13)



歳入総額は、平成23(2011)年度から平成28(2016)年度までは、概ね65億円前後で推移していましたが、平成29(2017)年度以降70億円を超えて推移し、令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症対策関連の影響もあり前年度と比べて増加となっています。

歳入においては、義務的経費は横ばい傾向であるものの、今後、高齢化の進展により、医療費等の社会保障費の増加が見込まれます。令和2(2020)年度の補助費が新型コロナウイルス感染症対策により28億円と大きく増加しています。投資的経費は、平成23(2011)年度以降4億円~12億円前後で推移していますが、今後更新を迎える公共施設等の維持更新費用の増加に伴う財源の捻出が課題となります。

### 【公共建築物の現状】(P14~P16)

大分類	中分類	策定時平成27(2015)年度		令和2(2020)年度		
		施設数	延床面積(m <sup>2</sup> )	施設数	延床面積(m <sup>2</sup> )	
文化系施設	集会施設	6	3,629.21	文化・コミュニティ施設	11	13,544.16
	文化施設	1	2,576.60			
社会教育系施設	図書館	1	494.23	博物館等	1	1,389.33
	博物館等	1	1,389.33			
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	3	5,203.89			
学校教育系施設	学校	5	30,345.53	学校施設	14	28,235.02
	その他教育施設	1	829.11			
子育て支援施設	幼稚園・保育園・こども園	7	7,086.88	子育て支援施設	7	7,086.88
保健・福祉施設	保健施設	1	1,050.09	健康福祉施設	5	5,334.26
	その他社会保険施設	1	2,786.51			
町営住宅	町営住宅	22	2,372.17	住宅施設	24	2,661.17
その他	その他	31	11,885.10	公園	2	22.97
				観光施設	15	6,027.06
				農林施設	5	3,195.56
行政系施設	庁舎等	2	5,385.18	庁舎等施設	5	6,667.57
	消防施設	33	3,026.94	消防施設	46	3,283.09
	その他行政系施設	2	270.42			
合計		117	78,331.19	合計	134	76,057.74

新設: 児童バス待合所 トイレ(皇川)

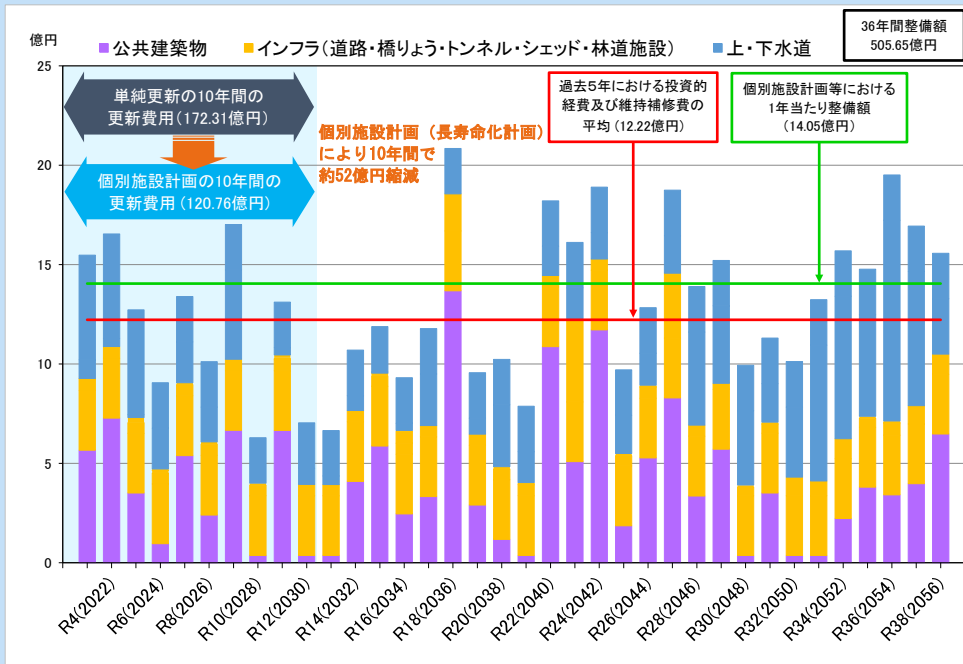
廃止: 旧北小学校(普通教室棟・特別教室棟) 教員住宅(南部1) 生活改善センター(下須賀川)

### 【インフラ施設の現状】(P17~P19)

種別	主な施設	施設数	
		策定時平成27年度(2015)	令和2年度(2020)
道路	道路延長	201,089	201,748
	1級町道延長	15,455	15,455
	2級町道延長	31,859	31,856
	その他町道延長	153,775	154,437
	トンネル	2箇所	2箇所
上水道	管総延長	104,639	104,639
	導水管	10,239	10,239
	送水管	10,011	10,011
	配水管	84,389	84,389
	浄水施設(配水地等含む)	4施設	13施設
	配水施設	25施設	33施設
	減圧施設	10施設	8施設
	貯水施設	1施設	1施設
	沈澱施設	1施設	2施設
	管路総延長(農業集落排水含む)	117,153	119,076
下水道	水質浄化センター	1施設	1施設
	農業集落排水処理施設	2施設	2施設
	農道施設	101,500	97,433
林道施設	林道延長	113,372	113,372
	林道橋梁	16橋	16橋
用水路	林道トンネル	1箇所	1箇所
	用水路延長	167,648	167,648

# ◆ 将来の更新費用の推計

【将来の更新費用の推計】(P21~P25)



各施設を耐用年数経過時に更新した場合や重大な損傷が生じてから対処する対症療法的な修繕等を実施した場合の必要コスト(単純更新)と、各個別施設計画(長寿命化計画)で策定された必要コストを比較することにより、将来に係るコストにどれだけの効果が出てくるのかを分析する事ができます。

普通会計及び公営企業会計全体の今後10年間(令和3(2021)年度から令和12(2030)年度)の各個別施設計画に基づく効果額は、全体で**約52億円**となります。

普通会計(建築物、インフラ施設)は41.1億円、公営企業会計(上水道、下水道)は10.5億円の効果額となります。

# ◆ 公共施設等の基本的な方針

【計画期間】(P26)

平成29(2017)年度~令和12(2030)年度の14年間を対象期間とします。  
 今後の上位計画の変更や社会情勢等の変化を踏まえて必要に応じて見直しを行います。

【公共施設等の管理の目標】(P29)

- 公共建築物保有量の縮減目標  
 「山ノ内町公共施設個別施設計画」で検討した結果に基づき、令和12(2030)年度までに12施設の譲渡・廃止を行い、平成28(2016)年度の計画策定時点の公共施設延床面積から15%削減を目指します。
- インフラ施設  
 各「長寿命化修繕計画」等に基づき、計画的に点検、修繕を実施していくことで長寿命化を図り、更新サイクルを伸ばすことにより、維持管理のトータルコストを縮減します。

【公共施設等の管理に関する基本的な方針】(P30~P32)

計画的な公共施設等の管理のために、今後も必要な施設については、更新して維持管理を図り、機能を集約できる施設については統合するなどして、効率的に行政サービスを提供していきます。

項目	具体的な取組方針
① 点検・診断等	日常点検と定期・臨時点検、点検結果の集積・蓄積・活用等
② 維持管理・修繕・更新等	維持管理費・修繕費を平準化し、トータルコストを縮減 設備・機器の改修等で省エネルギー・CO2排出削減 運営については、PFIなどの民間の資金、経営能力、技術的能力を活用等
③ 安全確保	利用者の安全確保のための改修、利用見込みの低い施設の除却等
④ 耐震化	災害時の拠点施設としての観点も含め、防災・耐震性能の強化等
⑤ 長寿命化	予防保全による修繕時の長寿命化、個別に長寿命化計画の策定等
⑥ ユニバーサルデザイン化	住民ニーズや関係法令等におけるユニバーサルデザインのまちづくり
⑦ 複合化・集約化の推進	将来的な施設の必要性・集約化の検討、広域的な視野での検討等
⑧ 体制の構築	横断的な推進体制の構築、職員研修、町民との情報共有等

【PDCAサイクルの推進】(P33)

本計画は、基本計画の更新等に合わせ、本計画に掲げた目標を達成するための進捗管理と点検評価のPDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルの考え方にに基づき計画の随時見直しと充実に努めます。  
 本計画は長期的な取り組みとなるため、社会経済情勢等の変化など、前提となる条件が大きく変わった時点で、適宜必要の見直しを行うとともに、議会への報告やホームページへの掲載により町民へ公表します。